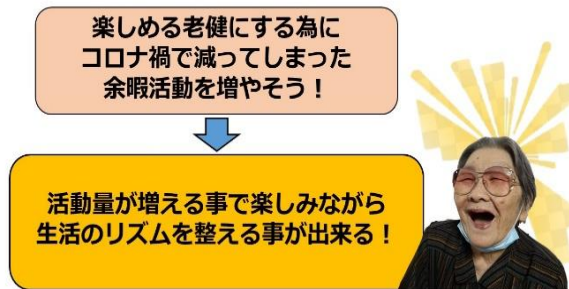


演題名	もっと楽しめる老健へ～余暇活動の回数増加～		
施設名	喬成会介護事業部 オアシス21	ふりがな 発表者(職種)	しもだ ようへい 霜田 洋平 (介護福祉士)
ふりがな チーム名	ろうけんのやくわりってなんだろうばーとえいと 老健の役割って何だろう？パート8		
分類	③患者サービス・患者満足度の向上をめざすもの		
取り組種別	問題解決型		
改善しようとした 問題課題	コロナ禍で感染対策をしながらの余暇活動が難しく、実施が少なくなりました。		
改善の指標と その目標値	(指 標) 一日のレク回数 (目標値) 1回から3回へ増やす		
実施した対策	①ご利用者の趣味の把握をする為興味関心チェックシートを運用する ②職員がレクリエーションを円滑に行う為レク用品一覧を作成し体操の講習を行う ③市のサービスを利用する為マニュアルを作成する ④業務内に時間を作る為タイムテーブルを作成する ⑤ご利用者にわかりやすい掲示をするため月別レクリエーション表を作成する		
改善指標の 対策実施 前後の変化	(実施前) 一日のレク回数 1回 (実施後) 一日のレク回数 3回		
歯止めと 標準化	①標準化:業務マニュアルを使用し各主任が入職時に説明。行事委員会で毎月のレク予定表を作成。 ②教育:行事委員会で体操のやり方を指導。 ③管理:日勤者はレンタルしているレク用品を貸出簿で管理。		
活動の種類 ※複数選択可	③テーマに合わせて形成したチーム活動 ④組織全体で取り組んだ活動	チーム メンバー (職種)	1 山本 美沙 介護福祉士 2 桑原 千秋 正看護師 3 高桑 由貴 正看護師 4 川村 佳奈美 管理栄養士 5 霜田 洋平 介護福祉士 6 窪田 翔馬 介護福祉士 7 飯田 早紀 介護福祉士 8 太田 優希 理学療法士 9 高橋 真衣 言語聴覚士 10 高橋 紋野 支援相談員
活動の場 ※複数選択可	②支援部門		
活動期間	R7年1月18日～6月20日		
リーダー名 (職種)	山本 美沙 (介護福祉士)		
活動回数	12 回		

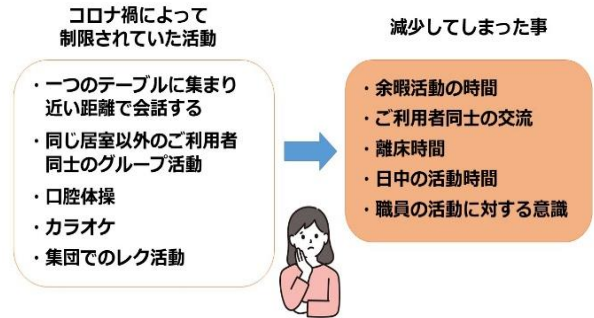
【テーマ選定】

テーマ選定



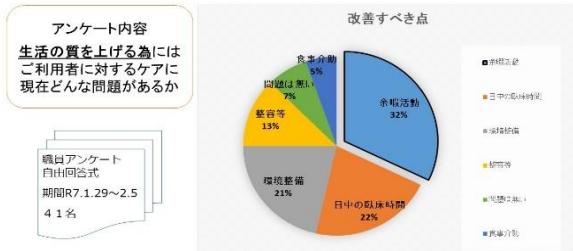
【現状把握】

現状把握



現状把握

職員の意識



【目標設定】

目標設定

なにを	1日に行うグループでの 余暇活動の回数を増やす
いつまでに	令和7年5月31日まで
どうする	1日1回→1日3回

【要因解析】

重要要因の検証

重要要因	検証	判定
ご利用者の趣味の把握が 出来ていない	アセスメントが出来ていない	○
レクリエーションを 何をしていいかわからない	レクリエーション用品のリストや 使用方法の説明書がない	○
市のサービスの 使用方法が解らない		
他部署との連携が 上手く出来ていない	コミュニケーション不足	○
業務の中に余暇活動の時間が 組み込まれていない	コロナ禍で減らしたままに なっている	○

重要要因の検証

重要要因	検証	判定
ご利用者が施設内で 何をしたいかわからない	案内や掲示等が不足している	○
体力が無くて起きていられない	その日によって睡眠時間や 排便状態、体調など個人差があり、 毎回強制することは出来ない	×
好みがバラバラで一緒に出来ない		
老健としての介護士のあり方が 理解出来ていない	職員の意識の持ち方に個人差がある	○

【対策の立案と実施】

対策の立案

◎：5点 ○：3点 △：1点 1.5点以上を対策する

特性	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実現	持続	経済	点数	備考
なぜ余暇活動の時間が 増えないか	ご利用者の 趣味の把握が 出来ていない	趣味の把握	興味関心チェック シートの作成	入所時使用する	◎	◎	◎	◎	20	○
	レクリエーション 何をしたいかわ からない	物品の把握	使用方法を確認	①レクリエーション用品 一覧の作成	◎	◎	◎	◎	20	○
				②講習会を開催	◎	◎	◎	◎	18	○
	市のサービスの 使用方法が 解らない	市のサービス 何があるか 調べる	市のサービスの 使用方法を確認	マニュアル作成し 職員へ周知する	◎	○	○	◎	16	○
	他部署との 連携が上手く 出来ない	現状の調査	各部署へ相談	タイムテーブルに 組み込む	◎	○	○	◎	16	○

対策の立案

◎：5点 ○：3点 △：1点 1.5点以上を対策する

特性	重要要因	一次対策	二次対策	三次対策	効果	実現	持続	経済	点数	備考
なぜ余暇活動の時間が 増えないか	業務の中に余暇活動 の時間が組み込ま れていない	業務時間の 見直し	業務改善委員と 検討	タイムテーブルを 作成する	◎	◎	◎	◎	18	○
	ご利用者が施設内 で何をしたいかわ からない	日中の過ごし方を 確認	ご利用者に 聴き取り調査	月別の レクリエーション表を 作成する	◎	◎	◎	◎	18	○
	体力が無くて起き ていけない	日中の過ごし方を 確認	臥床していても 出来る事を 提供する	臥床していても 出来る事を 提供する	◎	△	△	◎	10	×
	好みがバラバラで 一緒に出来ない	日中の過ごし方を 確認	ご利用者に 聴き取り調査	マンツーマンで 対応する	◎	△	△	◎	10	×
	老健としての 介護士のあり方が 理解出来ない	現状の調査	ケア会議を 開催する	会議で出た意見を 文書化し、 職員へ周知する	◎	◎	◎	◎	18	○

対策実施

①興味関心チェックシートを使用 ご利用者に聴き取り調査を行う



興味・関心チェックシート

氏名： 性別： 年齢： 入所日： 担当職員： 調査日： 調査場所：

本人が興味・関心のある活動や、以前に経験した活動、現在も続けている活動、興味があるが経験していない活動、興味がない活動、その他を記入してください。

活動内容	興味・関心	経験の有無	備考
1. 読書	◎	◎	
2. 音楽鑑賞	◎	◎	
3. 園芸	◎	◎	
4. 散歩	◎	◎	
5. 手芸	◎	◎	
6. 料理	◎	◎	
7. 旅行	◎	◎	
8. 動物と遊ぶ	◎	◎	
9. 映画鑑賞	◎	◎	
10. 買い物	◎	◎	
11. 入浴	◎	◎	
12. 食事	◎	◎	
13. 睡眠	◎	◎	
14. 排泄	◎	◎	
15. その他			

対策実施

②-1 レクリエーション用品 一覧の作成



対策実施

②-2 口腔体操＆体操の 講習会を開催



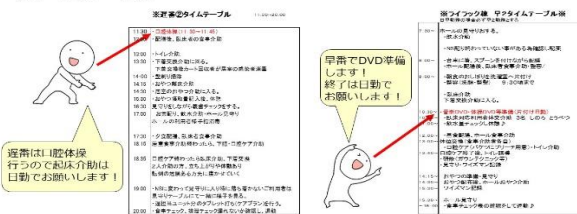
対策実施

③社会福祉協議会からの レク用品レンタル



対策実施

④タイムテーブル



対策実施

⑤月別レクリエーション表の作成



対策実施

⑥ケア会議



【効果の確認】

効果の確認 ○有形効果



効果の確認 ○有形効果



効果の確認 ○無形効果



効果の確認 ○無形効果



効果の確認 ○波及効果



効果の確認 ○波及効果



効果の確認 ○波及効果



【標準化と管理の定着】

歯止めと標準化

目標	項目	期間	場所	担当者	方法	見直し
標準化	業務マニュアル	入職時	棟内	各主任	入職時に説明	適宜
	毎月のレク予定表	毎月	棟内	行事委員	毎月月末に作成	適宜
教育	職員研修	入職時	棟内	行事委員	体操や口腔体操のやり方を指導	年度毎
管理	社協レク用品	毎回	棟内	日勤者	貸出時の活用	年度毎

【反省と今後の進め方】

反省と課題

手順	よかった点	わかった点	今後の進め方
テーマの決定	ご利用者の日々の生活に役立って活動量が増えた	臥床対応しているご利用者へ、列席したレクがあると良かった	行事委員会と連携し活動していく
現状把握と目標設定	余暇活動の少なさを把握する事が出来た	現状把握の仕方がアンケートに無くついた	現場のヒアリングを大切に目標設定する
活動計画の作成	それぞれの個性・個性が反映になったラインワークスを活用し参加率が向上した	出席者に寄りかかっていた	今後ラインワークスを活用し参加率の向上を図る
要因の解析	費用分析を4項目から出し、各項目別に内訳を絞れた	一つの項目に要因が集中してしまった	勉強会に参加して理解を深める
対策の立案と実施	他の委員会と連携して対策を実施する事が出来た	7月ナタラスターより実施期間が短くより短くなった	業務改善・行事委員会と連携し活動計画に役立てていく
効果の確認	日々の活動をやりやすさが出て新しい取り組みが実現する事が出来た	活動量は増えたが参加者に寄りかかっていた	興味関心チェックシートを活用しレクリエーションの時間を増やしていく
標準化と管理の定着	各々の役割が明確になり定着化が図れた	行事委員の仕事を増やした	出席の定着として行事委員以外でも活動出来るようにしていく

